

産業標準化推進月間事業

# 標準化と 品質管理

## 四国地区大会 2024

経済産業省では毎年10月を「産業標準化推進月間」と定め、各地方経済産業局とともに、全国的に産業標準化の普及・啓発に関する各種の行事を展開しています。その結果として、各組織に標準化が定着し、技術の向上や生産の効率化に大きな成果をあげてまいりました。「標準化と品質管理 四国地区大会」はこの普及活動の一環として、経済産業省 四国経済産業局、及び関係団体のご支援のもと、本年度は裏面のプログラムにて開催いたします。JIS認証組織やISO登録組織の方々はもとより、標準化と品質管理を推進しようとする企業の方々のご参加をお待ち申し上げます。

10月17日(木) 13:00~16:40

サンポートホール高松

主催：一般財団法人 日本規格協会 四国支部

後援：経済産業省 四国経済産業局  
JIS登録認証機関協議会  
日本クオリティ協議会

お申し込みされた方は、後日、全国大会の講演アーカイブ動画を無料でご視聴いただけます。

## プログラム

13:00-13:10 開会挨拶

一般財団法人日本規格協会 理事長  
朝日 弘

13:10-13:20 日本規格協会グループの活動と新たな取り組み

一般財団法人日本規格協会 理事長  
朝日 弘

## 講演

13:20-14:00

標準化政策の現状と今後の方向性

経済産業省 イノベーション・環境局  
基準認証政策課 課長補佐  
岡野 佑香

グローバル市場の変化を踏まえ、標準化活動は、経営戦略と一体的かつ能動的に取り組むことがこれまで以上に重要となっています。政府としても「日本型標準加速化モデル」(2023年6月)にて官民各主体の取組方針を示し、具体的な施策を推進してきたところです。本講演では、これまでの政府の取組の進捗をご紹介しますとともに、今後の展望についてお話しします。

14:00-14:10

休憩

## 特別講演

14:10-15:10

ヒューマンエラー対策の理論と実践

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
中田 亨

事故やトラブルを引き起こすヒューマンエラーは鎮圧したいものですが、人は間違えるのが常。ミスゼロにすることは非常に難しいのです。エラーを減らすだけでなく、ミスを大きな事故につなげない検査体制の工夫が求められます。マニュアルや作業工程の改善、チームワークの円滑化といった多面的な対策が必要となります。本講演では、ヒューマンエラーへの体系的な取り組みを、各産業での実践例を題材にしつつ、詳しく解説します。

15:10-15:20

休憩

## 講演

15:20-16:30

JISマーク表示制度  
～指摘事項・よい事例等、最新審査情報～JIS登録認証機関協議会  
一般財団法人日本建築総合試験所  
製品認証センター 認証部 審査課(東京) 課長代理  
安田 真弓

原材料調達や価格高騰、気候変動、労働時間規制、デジタル化への対策など、製造業をとりまく環境は大きく変化しております。JIS認証工場は、効率化を進めつつ、JISマーク製品の信頼性を確保し、品質を維持向上することが求められています。認証審査の現場での事例をご紹介します、適切な品質管理の維持に向け、その糸口となる情報を提供します。

16:30-16:40 閉会挨拶

一般財団法人日本規格協会 四国支部 事務局長  
山下 隆宣

報文集は紙での提供をいたしません。必要な方はダウンロード・印刷してご持参ください。

## 一般申込

11,000円(税込)

## 維持会員の方

ご加入1口につき1名様

無料

※8月上旬頃にご招待のご案内をいたします。

口数以上のお申込

5,500円(税込) / 1名様

## 会場

サンポートホール高松 第1小ホール  
高松市サンポート2-1

## アクセス



● JR ————— 「高松駅」徒歩 3分

● ことடன் ————— 「高松築港駅」徒歩 5分

公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

\*有料のお申込の場合は、請求書をお送りしますので、請求書に記載の日までにちまてにお振込ください。尚、欠席された場合にも原則として返金はいたしませんので、予めご了承ください。

お申込はWEBで

SQ 大会 2024

検索

<https://www.jsa.or.jp/>